

## 令和 4 年度 事業計画

### I. 基本方針

世界で初めて新型コロナウイルスが確認されて 2 年以上が経過いたしました。日本の社会経済に与えた影響は大きく、ワクチン接種が広まっている中であっても、変異株の発生により未だ元の生活に戻る事が出来なしております。

特に静岡県の中でも伊豆地区においては観光・宿泊・飲食業への影響は大きく依然厳しい状況が続いております。

このような状況の中、伊豆市シルバー人材センターでは、新規入会者の鈍化や既存会員の高齢化による退会が進み、会員数が近年伸び悩んでおります。

会員拡大への取り組みとして静岡県シルバー人材センター連合会が委託する高齢者活躍人材確保育成事業を利用した会員入会向けの講習会や、セミナーの開催、入会説明会の実施等、様々な施策を実行致します。

就業開拓の面では中期計画の 2 年目となる今年、新しい福祉事業に挑戦すると共に、既存の事業についても更なる発展を目指し、就業機会の確保に努めていきます。

高年齢者雇用安定法の改正によりシルバー人材センターの置かれる立場は間違いなく変化してきておりますが、今後も時代の変化に対応しながら、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、組織力を強化し地域社会から愛され、信頼されるシルバー人材センターを目指し、引き続き自治体や、他の関係機関とも連携・協働しながら、生きがいの充実と福祉の増進を図り、「福祉の受け手から社会の担い手」として、地域社会において大きな役割を果たす団体として努めていきます。

令和 4 年度は、前年度の取り組みを踏まえつつ、次の重点目標を掲げ、会員及び役職員が一丸となって事業展開いたします。

### II. 重点目標

- (1) 4 年間の中期計画の推進
- (2) 安全就業の強化と健康管理の推進
- (3) 会員拡大と普及啓発活動の推進
- (4) 適正就業と就業機会の確保の推進
- (5) 独自事業の推進
- (6) 組織体制の確立と財政運営の適正化の推進

### Ⅲ. 実施計画

#### (1) 4年間の中期計画の推進

- ① 時代の変化に伴う新しいシルバー人材センターの役割を、行政や関係機関・地域社会の理解を得ながら推進します。
- ② 厳しい社会経済による財政状況を考慮し、効率的な事業運営を会員・役員・職員が一体となり推進します。

#### (2) 安全就業の強化と健康管理の推進

- ① 会員1人ひとりの安全意識の向上を図り、就業中や就業途上における事故の撲滅を目指します。
- ② 現場世話人による作業前の朝礼・KYチェックシートの実施を徹底し事故の防止に努めます。
- ③ 安全委員による就業現場の巡回パトロールを実施し、事故の防止に努めます。
- ④ 同一事故を防止するため、事故の検証と防止策を検討、会員に周知徹底するため『安全だより』を発行し、再発防止に努めます。
- ⑤ 健康診断の受診を会員に推奨し、健康管理に対する意識の向上に努めます。
- ⑥ 運転業務従事者に対して安全運転講習を行い、事故の防止に努めます。
- ⑦ 事故削減のため「安全・適正就業推進基本計画書」策定を周知徹底します。

#### (3) 会員拡大と普及啓発活動の推進

- ① 会員の「知人・友人」への1人1会員紹介運動を推進します。
- ② 会員拡大に向け毎月第2木曜日に伊豆市地域職業相談室での『入会・説明相談窓口』を実施するほか、シルバー人材センターで毎月第3木曜日に入会説明会を実施します。
- ③ 広報誌『シルバー伊豆』の発行やホームページ等の広報媒体を活用した情報発信に努めます。また市内イベントでのチラシ配布等を実施しPRを行います。
- ④ 地域社会との連携を深めるため、奉仕活動や交通安全啓発運動などのボランティア活動を実施し普及啓発に努めます。
- ⑤ 高齢者活躍人材確保育成事業を活用し、新規会員の確保に努めます。
- ⑥ 退会抑制のため、会員向け講習や講座の実施、会員互助会と連携し同好会活動等への社会参加を促します。

#### (4) 適正就業と就業機会の確保の推進

- ① 「適正就業ガイドライン」の周知徹底に努めます。
- ② 適正就業や高齢者の雇用機会の拡大を図るため、シルバー派遣事業・有料職業紹介事業を有効に活用します。
- ③ 公平な就業機会提供のため、引き続きワークシェアリングについて検討していきます。
- ④ 多様な就業機会を確保するため、チラシ配布や、新規就業先の開拓を行い、就業機会の拡大を目指します。
- ⑤ 高齢者・市外者総合支援事業で実施した「墓地等の維持・管理」、「農地の維持・管理」について更なる拡大を行い「生活支援・家事援助」では、新しく伊豆市介護予防・日常生活総合支援事業を実施し就業機会の増加を目指します。
- ⑥ 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として就業開拓や就業会員の確保を実施、新たな職域拡大を目指します。

#### (5) 独自事業の推進

- ① ますます盛春農園・正月飾り制作販売・筍出荷事業を今後も継続事業としていくために、後継者の育成を図り就業機会の確保を目指します。
- ② 地域社会のニーズに答えるため関係機関と連携し、独自事業の更なる発展を目指します。

#### (6) 組織体制の確立と財政運営の適正化の推進

- ① 会員・役員・職員が連携を密にし、苦情・要望・提案などの情報の共有化を図ります。
- ② 全ての会員がシルバー人材センターの理念である『自主・自立』に基づいた自主的・主体的な活動が出来るよう意識の改革に取り組みます。
- ③ 理事会をはじめとした各部会・委員会等の組織力の強化を図ります。
- ④ 緊急時でも事業が滞る事が無いように、平時から緊急時を想定した「事業継続計画書」を策定します。
- ⑤ 事務量の増加・複雑化に対応するため、役員や班長と連携し事務の効率化を目指します。
- ⑥ 経費削減に努めると共に効率的・効果的、また合理的な事業運営に努めます。